

# 東海東京財団ニュース

2019年7月23日

各 位

一般財団法人 東海東京財団  
愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1

## 一般財団法人 東海東京財団 2019年度「祭礼行事伝承助成」助成対象先を決定

一般財団法人 東海東京財団（2016年8月設立、理事長 石田建昭）は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍できる人材の育成、また、地域社会において、国際経済や社会への理解を促す機会の創出、文化・芸術振興などを通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的といたしております。

一昨年から引き続き、愛知県内各地の祭礼行事が、末永く保存・伝承され、発展していくことを願い、2019年3～5月にかけて「祭礼行事伝承助成」の公募を行ないました。合計20件のご応募があり、厳正なる選考の結果、11件の助成対象先（別紙参照）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本助成事業は3年目であり、累計28件、12,727千円の実績となります。

## 2019年度「祭礼行事伝承助成」について

### 1. 実施背景

2016年11月、全国で33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そのうち、愛知県には全国最多の5件が所在しております。登録により文化的価値が改めて広く認識されるとともに、地元の活性化、伝統文化全体への波及効果なども期待されます。

こうした「山・鉦・屋台行事」に限らず、地域社会に伝わる各種の祭礼行事が県内各地に存在しておりますが、一方で、こうした行事を保存・伝承していくうえでの若い後継者の不足が懸念されているほか、その保存・伝承を継続していくうえでの経済的な支援が求められている状況です。

### 2. 公募方法および申込期間

公募方法：各自治体の教育委員会等を推薦窓口とし、愛知県教育委員会に書類提出。

申込期間：2019年3月11日（月）～5月24日（金）

### 3. 助成対象

愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、下記の項目に該当する団体に対して支援いたします。助成対象となる経費は「用具購入・修繕費、製作材料費等」のみとします。

- (1) 2020年3月までに、申請した費用の支出を予定していること。
- (2) 団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- (3) 市町村教育委員会の推薦がある団体であること。但し、推薦枠は各市町村につき2件までとします。
- (4) 次に該当するものは、すべて対象外とします。
  - ① 2017年度、2018年度に本財団から助成を受けている団体
  - ② 2件を超えて推薦をした市町村に属する団体
  - ③ 2018年度、「用具購入・修繕費、製作材料費等」について外部から助成を受けている団体、および2019年度に同費用について外部から助成を受けることが決定している団体

#### 4. 助成対象者の決定

本財団の事務局において応募書類等の審査の後、理事会（2019年7月3日）における選考・承認のうえ決定した。

#### 5. 助成決定件数および助成額

- ・2019年度「祭礼行事伝承助成」 助成申込件数、決定件数および助成金額

申込件数	決定件数	助成金額
20件	11件	3,854千円

※助成決定先、助成金額内訳は別紙をご参照ください。

#### 6. 助成金贈呈式

日 時：2019年9月11日（水） 15時30分～16時30分

場 所： ミッドランドスクエア オフィス棟8階 東海東京証券プレミアサロン  
(愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1)

以 上

(別紙) 2019年度「祭礼行事伝承助成」助成先一覧

11件 3,854千円

(敬称略)

番号	団体名 (カナ)	市町	申請内容	助成金額 (千円)
	行事名	団体設立	概要	
1	山口警固祭り保存会 (ヤマグチ ケイゴマツリ ホゾンカイ) 行事名: 山口警固祭り	瀬戸市 1952年	・ 献馬隊の十二丁鎌の購入  100数十名が隊列を組んで練り歩き、八幡社に飾り馬を奉納する。警固隊の装備である馬付鎌は、経年劣化によりゆがみや刃先の一部が損傷している。	233
2	桜井町下谷棒の手保存会 (サクライチョウ シモヤボウノテ ホゾンカイ) 行事名: 桜井町の棒の手	安城市 1956年	・ 子ども用道具の購入 (木刀、槍、長刀) ・ 大人用衣装の購入 (着物・帯・ズボン)  棒の手とは、棒・刀・槍・長刀等の武器を用いて型を演じる伝統芸能で、神社の祭礼等で奉納する。子ども会員の増加で道具が不足していると同時に、消耗により破損している。また、衣装も簡略化している。現在会長をはじめ指導者層は20代の若い世代が担っており、自分たちで資金を出すのが難しい。	500
3	馬場区神楽保存会 (バンバク カグラホゾンカイ) 行事名: 武雄神社例祭	武豊町 1968年	・ 楽器の購入 (横笛)  境内に6台の山車が集結し、からくりや三番叟、巫女舞を奉納する。お囃子を演奏する時間が長いため、笛奏者の育成に努めているが笛の数が足りず、塩ビパイプで練習をし、本番では一部素人が作成した笛を使用しているため、音色が揃わない。	486
4	富貴市場区祭保存会 (フキイチバク マツリホゾンカイ) 行事名: 富貴市場区祭礼	武豊町 1970年	・ 3点の楽器の購入 (締太鼓、小鼓、張扇) ・ 胴長太鼓の修理  村中安全、五穀豊穡の祈願と厄落としのために八幡社を中心とした神社に山車を曳いてまわる。伝統文化の継承のため、小学生等に囃子の指導をしているが、太鼓の革は破れ、胴は割れ、パチは折れており、本来の音が出ない。修理・購入が急務であるが、費用を工面するのが困難な状況。	385
5	平田組保存会 (ヒラタグミ ホゾンカイ) 行事名: 布土区祭礼	美浜町 1979年	・ 楽器の購入 (大鼓組上品)  山車の曳きまわし、からくり人形の実演、三番叟、お囃子を奉納する。小学生が中心となるお囃子の楽器は痛みが激しく、数も不足しており、練習では段ボールで代用している。90世帯で祭礼の継承をしており常に資金不足。	212
6	美浜町古布区 (ミハマチョウ コウク) 行事名: 美浜町古布区祭礼	美浜町 1840年	・ 山車の4輪の修理  神輿を担ぎ、山車を曳き、笛や太鼓のお囃子を奏でて奉納する。山車の輪の傷みが激しく、曳きまわしの実施が危ぶまれる。毎年区民からの寄付金に頼り運営をしているが、今回の修理費用は高額であり、負担が困難な状況。	500
7	躍山境おどり保存会 (オドリヤマ サカイオドリ ホゾンカイ) 行事名: 躍山境おどり	豊川市 1970年	・ 太鼓の修理  町の八幡宮大祭に踊りを奉納する。長年にわたり使用してきた唯一の楽器で、唯一の音源である太鼓が傷んだため修理をしたいが、財源が少なく、修理が困難な状況。	66
8	日下部太鼓保存会 (クサカベ タイコ ホゾンカイ) 行事名: ・ 春夏秋冬の大祭 ・ 尾張大國霊神社と眞清田神社での神事奉納	稲沢市 1977年	・ 楽器の修理 (大太鼓、小太鼓)  各種祭礼にて、神楽太鼓を奉納する。毎月3回の練習により4台の太鼓の革が破れている。太鼓の革の修繕費は高額であり、捻出は困難な状況。	405

(次のページへ続く)

9	<p><b>東部区</b> (トウブク)</p> <p>行事名：豊浜 鯛まつり</p>	<p>南知多町</p> <p>2018年</p>	<p>・太鼓の修理</p> <p>巨大な鯛みこしが町中や海辺を練り歩き、海の安全と大漁を祈願する。これまで使用し続けてきた太鼓の革が破れてしまい、祭りを執り行うことが難しい状況。区内の世帯数の減少により、今回の太鼓の修繕費を集めることが困難。</p>	70
10	<p><b>篠島漁業協同組合 御幣鯛奉納祭協議会</b> (シノジマ ギョギョウ キョウドウクミアイ オンベダイ ホウノウマツリ キョウギカイ)</p> <p>行事名：御幣鯛奉納祭り</p>	<p>南知多町</p> <p>1998年</p>	<p>・大漁旗等の掲揚用ポールの購入</p> <p>伊勢神宮に奉納するために、調製された塩漬けの干鯛（御幣鯛）を「御用船」に乗せ、奉納を行う。旗の掲揚には自ら切り出した竹を使用しているが、折れてしまうことも多く危険である。しかし、ポールの購入は、非常に負担が大きいため改善が困難な状況。</p>	500
11	<p><b>松尾神社奉賛会</b> (マツオジンジャ ホウサンカイ)</p> <p>行事名：坂井松尾神社 例大祭</p>	<p>常滑市</p> <p>1711年</p>	<p>・3点の楽器の購入（鼓、大鼓、笛）</p> <p>神事・行事の夜宮祭・例祭にて、氏子の無病息災、五穀豊穡を祈願して山車・からくり人形を奉納する。新たに20名の子供が増加し、楽器が不足して十分な練習ができない状況。区内の世帯数の減少により寄付金が不足しており購入が困難である。</p>	497

以上